学校番号	322

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	３年次（普通科）
使用教科書	高校日本史（山川出版社）						
副教材等	最新日本史図表　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代における日本の政治・経済や文化的な側面は過去の歴史との因果関係によって成り立っている。地理的な影響・諸外国との関係を考察し、様々な諸課題を解決するために必要な歴史的な思考力、判断力、表現力を身につける。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用 して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を 主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　日本文化のあけぼの	1　文化の始まり 2　農耕の開始	a: 日本の旧石器文化・縄文文化の成立と変化を、理解している。水稲耕作や金属器の伝来が日本列島の社会に与えた影響を理解している。 b: 遺物や遺構など考古学上の知見から、旧石器文化・縄文文化の社会、小国の連合について、根拠を示して表現している。 c:日本の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化・縄文文化・弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	発言 ワークシート
	第2章　古墳とヤマト政権	1　古墳文化の展開 2　飛鳥の朝廷	a 推古朝の政治や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 b: 諸資料を収集して分析し、ヤマト政権の発展や古墳文化の特色、仏教の需要や遣隋使・遣唐使について、多面的多角的に考察し表現している。 c: 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成と連合について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	発言 ワークシート
	第3章　律令国家の形成	1　律令国家への道 2　平城京の時代 3　律令国家の文化 4　律令国家の変容	a:律令国家の形成と変容、仏教文化の成立について、理解している。 b:律令体制の成立、変容について政治や地方の動向も踏まえて、多面的・多角的に考察している。また、盛唐文化の受容を踏まえ、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。 c:平城京における政治史の流れに着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	**定期考査** **小テスト** **ワークシート**	定期考査 ワークシート レポート	発言 ワークシート
	第4章　貴族政治の展開	1　摂関政治 2　国風文化 3　荘園の発達と武士団の形成	a:律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。武士団の仕組みや武士の反乱などに着目し、律令体制や地方社会の変容を理解している。 b:摂関政治の特質とその後の展開について考察し、根拠を示して表現している。土地制度の変化について、史料を読み取りながら考察し、根拠を示して表現している。 c:摂関政治期の社会の特色を明らかにし、摂関時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。地方の諸勢力の成長が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	**定期考査** **小テスト** **ワークシート**	定期考査 ワークシート レポート	発言 ワークシート

	第5章 院政と武士の進出	1 院政のはじまり 2 院政の平氏政	a 院政期について諸資料から様々な情報を読み取り、武家政権の成立について理解している。 b: 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組み、武士の土地所有の変化などを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 c:中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	**定期考査 小テスト ワークシート**	定期考査 ワークシート レポート	発言 ワークシート
	第6章 武家政権の成立	1 鎌倉幕府の成立と展開 2 モンゴル襲来と幕府の衰退 3 鎌倉文化	a 諸資料から情報を読み取り、鎌倉幕府の成立の歴史過程と封建社会の成立、モンゴル襲来の国際的背景や国内への影響について理解している。 b: 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色と、その関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。鎌倉時代の農業・商工業の発達による社会の変動や御家人の窮乏について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。	**定期考査 小テスト ワークシート**	定期考査 ワークシート レポート	発言 ワークシート

学期	単元	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	第7章 武家社会の成長	1 室町幕府の成立 2 下戸上の社会 3 室町文化 4 戦国の動乱	a: 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係について、諸資料から情報を収集して理解している。また、戦国大名の領国統治の特徴を理解している。 b: 南北朝の動乱と日本列島の地域社会の変質について、多面的・多角的に考察し、表現している。一揆について多面的・多角的に考察し、表現している。堺や博多などの都市の発展と、それを支えた商人などの活動について多面的・多角的に考察し、戦国時代の地域の多様性を考察し、表現している。 c:諸資料を活用して前後の時代のつながりから、この時期の政治や社会の特質を見出そうとしている。戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	発言 ワークシート
	第8章 近世の幕開け	1 天下人の登場 2 豊臣政権と桃山文化	a 諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 b: 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	発言 ワークシート

	第９章　幕藩体制の成立と展開	１　江戸幕府の成立 ２　江戸初期の外交と文化 ３　幕政の安定 ４　経済の発展 ５　元禄文化	a 幕藩体制下の支配体制や元禄時代､正徳の政治に至る展開に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代を理解している。 b:　幕藩体制の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。また、人びとの生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:江戸幕府の鎖国政策について、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について、主体的に追究しようとしている。幕藩体制が安定していくなかで、江戸幕府の諸政策が人びとの暮らしへもたらした影響について、主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート 発言
	第１０章　幕藩体制の動揺	１　幕政の改革と宝暦・天明期の文化 ２　江戸幕府の衰退 ３　化政文化	a:　幕藩体制の変容や宝暦・天明期の文化の特色を理解している。列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、雄藩が出現する過程を理解している。 b:　幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。また、幕藩体制の動揺について多面的･多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 c:　幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	発言 ワークシート
	第１１章　近世から近代へ	１　開国とその影響 ２　幕府の滅亡と新政府の発足	a　、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯や貿易のおよぼした影響、また、幕藩体制の崩壊と新政府の成立についてなどを理解している。 b:日本の政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:　幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	発言 ワークシート
	第１２章　近代国家の成立	１　明治維新 ２　立憲国家の成立	a 明治維新にともなう政治や社会の変革について､諸資料から情報を読み取って理解している。また、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 b:　諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:　明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート 発言

学期	単元	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
３学期	第１３章　近代国家の展開と国際関係	１　大陸政策の展開 ２　第一次世界大戦と日本 ３　ワシントン体制	a:第一次世界大戦前後の国民の政治参加に着目して、大正政変や米騒動、政党内閣の成立について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。また、ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 b: 大戦中の日本の動向を踏まえ、アジアや欧米諸国との関係や国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 対外的な戦争が日本の近代化の過程のなかでもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。また、東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	発言 ワークシート
	第１４章　近代の産業と生活	１　近代産業の発展 ２　近代の文化 ３　市民生活の変容と大衆文化	a 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 b:産業全般の変化や労働問題、公害問題の発生について、また、市民生活と地域社会の変容について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 産業の発展に伴う社会問題への対応や明治文化の特色、大衆社会が生み出す課題について、主体的に研究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	発言 ワークシート
	第１５章　恐慌と第二次世界大戦	１　恐慌の時代 ２　軍部の台頭 ３　第二次世界大戦	a 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 b:満洲事変などの対外政策、国内での軍部の台頭などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。また、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 c: 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。また、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート 発言

学期	単元	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
３学期	第１６章　現代の世界と日本	１　占領下の改革と主権の回復 ２　55 年体制と高度経済成長 ３　現代の情勢	a:諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。また、戦後の日本経済の成長や、高度成長期の国民生活や地域社会の変化について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 b: 外交事案がもたらした課題や高度成長、様々な社会問題の発生について、また、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に追究しようとしている。また、5 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返り、国内政治・経済の課題を主体的に見出そうとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	発言 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度